

地域で広がれ！福祉の「輪」♪



少子高齢化が進む中、よりきめ細やかな地域のつながりづくり・支え合いづくりが必要とされています。前回に引き続き、地域福祉活動の推進役の1人である「福祉委員」の活動についてご紹介します。

「福祉委員」は概ね自治会に1人以上選出されます。困りごとの早期発見からはじまり、地域の特性に応じて様々な活動を行なっています。

福祉委員さん 活動事例

チョット手を貸す運動(川上校区東片倉自治会)



今回は、川上校区東片倉自治会の取り組みについて、川上校区福祉委員会会長 前本 岩男さん、自治会長兼福祉委員 首藤 一行さんにインタビューさせていただきました。

(うべっぼ)川上校区東片倉自治会では、どのような活動をしていますか？



前本 岩男さん



首藤 一行さん

(福祉委員さん) 福祉委員は2人おり、見回りや訪問活動を実施しています。そして、重たい物をゴミステーションまで運んだり、病院へ薬を取りに行ったり、蛇口の水漏れを直したり、植木鉢の移動など出来る範囲内でのお手伝いをする「**チョット手を貸す運動**」(ボランティア)を始めました。

(うべっぼ)とても心強いですね！取り組みを始めたきっかけは何ですか？

(福祉委員さん)2年前に、ある奥様から「主人が風呂場で動けなくなったからチョット来て欲しい。」と要請がありました。伺ってみるとノボセたのか、横になっておられたので、ご主人を風呂場からベッドまで介助しました。自治会約400人の内約100人、つまり4人に1人が70歳以上の方となり、このような事案が増してくると思ったのです。

(うべっぼ)どのようにして依頼をするのですか？

(福祉委員さん)運動メンバー8人の班名・氏名・電話番号と運動の趣旨を記載したチラシを配布しています。チラシには「遠慮しないでお気軽に電話をしてくださいネ。メンバーが訪問いたします。」と記載しています。



訪問先にて「元気にしちよる？」



見守り隊の腕章をつけて草刈り

(うべっぼ)最近ではどのような依頼がありましたか？
今後の展望はありますか？

(福祉委員さん)ムカデの退治や高圧洗浄機の取り扱いが分からないから教えて欲しいという依頼がありました。東片倉自治会は地域のつながりが強いので、普段から多くの助け合いが行なわれています。何かあればすぐに人が集まります。そのパワーの源ともいえるのが今年で22回目を迎える「夏祭り」です。これからは障がいのある方への支援も取り組みたいです。



(うべっぼ)これまでに培われた地域の力を活かし、新たな活動が誕生しているのですね。誰もが安心して住み続けられる自治会として今後も発展し続けることを願っています☆

問合せ先

地域福祉課

地域支援係

TEL33-3134

FAX22-4391

